

教育委員会会議規則（第18条関係）

会 議 録

文書分類		保存期間	㊦、10、5、3、1年
会議の名称	第6回教育委員会定例会		
開催日時	平成30年6月21日（木） 午前・ <u>午後</u> 2時00分開会 午前・ <u>午後</u> 3時30分閉会		
開催場所	伝承館 1階会議室		
出席者	（委員出席者氏名） 教育長 梅井 隆男、教育長職務代理者 小林 源洋 委員 古橋 矩子、委員 秋山 敏男 委員 大島 均 （説明の出席者職・氏名） 教育部長 佐藤 勤 次長兼学校教育課長 栗林 浩 次長兼生涯学習課長 大宮 利和 スポーツ振興課長 仁平 博章 まかべ幼稚園長 酒寄 久 学校給食センター所長 二宮 浩子 学校教育課グループ長 佐谷 智 （欠席者氏名） 教育指導課長 田嶋 貴子		
議事録署名人の選任	秋山 敏男 委員		
会議内容	別紙のとおり		
会議資料	別紙のとおり 第6回教育委員会定例会		
会議録作成方針	要点記録		
その他必要事項			
情報の公可否	㊦・否 不開示理由（部分開示を含む）		
会議内容	（審議内容・審議経過・結論等）		

<p>栗林次長兼学校教育課長</p>	<p>本会儀に入る前に、桜川市教育委員会では地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の経過措置期間が終わりまして、本年6月10日より、新教育委員会制度が適用になります。今までですと、教育委員長が会議を招集し、会議を取りまとめておりましたが、新制度になりましたので、教育長がそれに代わるということになります。よって、今回の定例会から梅井教育長の元、執り行われることとなりますのでご了承願います。</p> <p>まず、会議の前にお諮りいただきたいと思います。本日、「その他 ICT 技術を活用した英会話交流事業」につきまして、学校教育課佐谷グループ長が説明のために出席することにご許可いただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>また、欠席報告ですが田嶋教育指導課長が欠席となっております。</p> <p>( 資料の確認 )</p>
<p>栗林次長兼学校教育課長</p>	<p>午後2時00分開会を宣する</p> <p><b>【1. 開会】</b></p> <p>それではただ今より平成30年第6回桜川市教育委員会定例会を始めさせてさせていただきます。はじめに梅井教育長よりご挨拶と諸般の報告をお願いいたします。</p>
<p>梅井教育長</p>	<p><b>【2. 教育長あいさつ】</b></p> <p>皆さんこんにちは。今回から司会進行を務めさせていただきますが、なにぶん不慣れでございますから、委員の皆様方のご支援、お力をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、何とぞよろしく願いいたします。</p> <p><b>【3. 教育長報告】</b></p> <p>それではスケジュールの報告をさせていただきます。</p> <p>( 資料により報告 )</p> <p>スケジュールに関して、ご質問等ございましたらお願いします。(質問等なし)</p>

梅井教育長	<p>【4. 議事録署名人の選任】</p> <p>本日の議事録署名人の選任に入ります。議事録署名人につきましては、秋山敏男委員にお願いいたします。</p>
秋山委員長	はい。
梅井教育長	<p>今日は、教育委員全員が出席していますので、本委員会は成立いたします。</p> <p>次に議事ですが、本日の会議に提案されている案件はございません。</p> <p>その他ということで、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における働き方改革について</li> <li>・ICT 技術を活用した英会話交流事業について</li> <li>・次回教育委員会の開催日時について</li> </ul> <p>となっております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
梅井教育長	<p>【6. その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における働き方改革について ( 資料により説明 )</li> </ul> <p>ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
秋山委員	<p>よろしいでしょうか。少し分からないところがございまして。16 ページですが、『「総合型校務支援システムの導入促進」の必要性』の ICT 化で、色々な部門がありますね。「名簿管理」や「出席簿」「成績処理」等。これを使うと先生方の負担が軽減されるということですか。</p>
梅井教育長	<p>そうですね。今までは「名簿管理」「出席簿」などそれぞれ一冊ずつ書いていたものが、ICT を導入すると「名簿管理」で入力したものが「出席簿」も自動的に入力されて、その情報が「成績処理」にも入力されて、というように自動的に入力されていきます。</p>
秋山委員	それは桜川市では導入されているのですか。
梅井教育長	導入されておられません。

秋山委員	導入していない理由は何故ですか。お金の面ですか。
梅井教育長	<p>お金のこともそうですが、初期の場面で不具合があるようです。使いにくさがあるようで、そこで新たなバージョンのものを入れるとお金がかかるようです。茨城県の方で導入するという話は伺ってはいます。もし県で導入してもらえれば安定するのですが、市町村単位でやろうとすると先生方が他市に異動になった場合にシステムが違うので混乱してしまう。そういった意味でのデメリットがあります。また、コスト面から見ても、県が行った方が市町村の負担は軽減します。</p>
秋山委員	近隣で、現時点で導入している市町村はあるのですか。
梅井教育長	筑西市では導入しています。
秋山委員	<p>先ほど教育長から説明があった通り、他市に異動になった場合先生の負担になってしまいますし、コストもかかることですから導入することについてはよく検討しなければいけないことだと思います。先生方の業務が軽減されるということですが、検討の余地はあると思います。</p> <p>また、部活動の説明を聞きましたが、このように変わってきてしまったのだなあと思いました。しかしながら、学校は教育をするところだと思います。大変でも、部活動を通して人間教育をしているんです。先生方や子供達の意欲を損ねないような許容範囲を決めていただければよりよい人間教育になるのではないかと。ギシギシな方針を決めてしまうとやる気がなくなってしまうのではないかと。中学生は文化部か運動部に100パーセント入部するわけですね。そういう中で成長していくのだと思うので。なのであまりギシギシにならない計画を立てていただければいいと思います。</p> <p>それともう一ついいですか。部活動では先生方と生徒の人間関係を作っていくわけですね。保護者との連携もできてるわけですね。そういったところも加味したうえでよく決めていただければ。ちなみに教育委員会はどのように関わっていくのですか。</p> <p>『茨城県運動部活動の運営方針の策定及び運動部活動の適切な運営等に係る取り組みの徹底について』の裏面に書いてありますが、方針を作るうえで教育委員会と校長で決めるのですか。教育委員</p>

梅井教育長	<p>会の誰が携わっていくのですか。</p> <p>携わっていくのは小中学校の校長の代表と指導課です。通知とか、スポーツ庁と県のガイドラインに沿って、8月1日までに作成していかないとはいけません。この通知のラインを越えてしまっ てはいけないので、ガイドラインに沿った内容で、学校の実情に 合ったものを作成しています。</p>
秋山委員	<p>分かりました。</p> <p>また、部活の顧問ですが、自分の得意な分野の担当になる先生 はいないですね。それは学校側にとっても負担になっているん だと思うんです。自分がやったことがない分野の部活動の指導で 悩んでしまって自殺してしまった先生もいるわけです。そういう ことが背景にあって、部活動に外部指導を取り入れるという話が 出ているのではないか。</p> <p>3年間かけて、どのような部活動をやるのが望ましいのか。私 も実際部活動を教えてきたので、消極的になっては子供のため にならないと思うので、部活に係る方がどのような形でやって いくのかということで、教育長の方でチェックしていただければ ありがたいな、という気持ちでお話しました。以上です。</p>
梅井教育長	<p>色々ご意見を伺いながら作っていかねばいけないと思っ ます。</p> <p>小林教育長職務代理、先日の市総体はお疲れ様でした。</p>
小林教育長職務 代理者	<p>ありがとうございます。</p> <p>今回、市内の総体に行ってみましたが、バレーと卓 球、野球と観させていただきました。競技によって保護者や子供 たちの熱の入りかたが全然違うと感じました。</p> <p>先生の負担もあるので、短く時間を決めてやっていかなく てはならないというの分かるのですが、中学校から始めるお子さん もいますよね。野球やサッカーとか、人数の多い競技なんかは、 経験者や初心者が一緒に限られた時間の中で練習していくとい うのはとても難しいですし、そうすると試合に出る子はどうしても 小学校の時にスポーツ少年団等でその競技を経験している子にな ってしまいます。しかし、それではあまり意味がないと思うん です。せっかくやる気があってその部活に入った子に対して、きち んと基本を教えるべきだと思います。</p>

秋山委員	<p>あと一つ気になるのが、怪我をする子が多い気がします。その理由は、自分の考えなのですが、多分準備運動が足りないのではないかと。また、練習終わりのクールダウンですね。練習時間を短くする結果、準備運動やクールダウンの時間が取れなくなってしまうのではないかと危惧しています。</p> <p>今回の市の総体でも思ったのですが、経験値を持った子がいるチームの方が強かった気がします。勝負の世界なのでそれはそれでいいのですが、もう少し経験者と初心者の子のレベルを近づけられたら、と思います。もう少し練習すれば違うんじゃないかと感じました。</p> <p>『茨城県運動部活動の運営方針の策定及び運動部活動の適切な運営等に係る取り組みの徹底について』の裏面に書いてある1日の活動時間の、平日2時間程度とか、休業日3時間程度とあるのは、あくまで程度ですよ。若干の許容範囲はありますよね。</p>
小林教育長職務代理者	<p>実際練習試合などのときは2、3時間では終わらないはずですよ。そのときのための『程度』なのかなと自分は解釈したのですが。</p> <p>スポーツといえば自分は野球を経験したので野球のことなのですが、野球はどうしても天気に左右されます。雨の日は練習できないので、そういったところが気になったのと、あとすみませんもう一つだけ。色んな大会がありますが今シーズン試合が多いじゃないですか。その中で、強い学校は試合を勝ち上がるので、練習時間も増えます。例えば、週末に大会があるので、その週の土曜日など練習して、日曜日の大会に出場する。</p> <p>順位が下の方のチームっていうのは、あまり大会がないので土日どちらかは休みになって、その結果練習時間にも差が出てしまう。練習量を同じにした方がいいのではないのでしょうか。例えば、出場する大会の数を減らすとか妥当じゃないかと自分は思いました。</p>
秋山委員	<p>結局、市立の学校というのは、市町村主催の対抗試合が多いわけですよ。試合に呼ばれるチームと呼ばれないチームがあって、そこでも試合の数に差が出てくるから、部活の休曜日をとるような話が出てくるんですよ。試合に出たチームは試合が土日だから月・火曜日休みにして、試合に出ないチームは土日休みにするとか。</p>

梅井教育長	<p>県西教育事務所経由で、部活動においてはどのような体系なのか調査の依頼がきております。試合に出場する回数で練習時間が変わってしまうというのは難しい問題だと思います。</p>
古橋委員	<p>私は部活のことというより、衝撃的だったのが資料3ページ『初等中等教育学校の教職員総数に占める教員以外の専門スタッフの割合』です。日本と欧米の国との落差がすごいと思うんですね。これに関連して、19ページの『2. 「学校における働き方改革」の基本的な考え方』の中に、「教師の持ち授業時数を減らすという観点で、教職員定数の改善が不十分」と書いてありますね。ということは、教職員の持ち時間を減らすという措置として、教職員の人数を増やすことが大事だと示しているのではないかと思うんです。</p> <p>また、直接調べたわけではないのですが、現職時代、授業を担当している頃、高校の教師は公立の小中学校の教師と比べると教師一人当たりの持ち授業時間数が少ないと聞いたことがあります。</p> <p>教員の持ち授業時間数をもっと減らして授業の質を高める、持ち時間を少なくして、授業準備を十分にとる。余裕を教職員一人一人に確保するともっともっと子供に係る指導を向上できるのではないのでしょうか。特に授業は、生徒の学力も心も育てるのでとても重要な要素です。</p> <p>小学校では、ほとんどの教科を一人の学級担任が授業を行っています。次の日の授業の準備、例えば6年生の授業は6時間あって、その準備に前日6時間かけるというのは非常に大変なことなんです。中学校は、教科担任制ですから一つの授業の準備をすれば学級の実態に合わせて応用できるのですが、小学校の教員は毎日へとへとになりながら仕事をしているわけですから、やはり、持ち授業数を減らせることができるならば、資料のこのページの箇所は国、県、市町村でぜひ力を入れてほしいところです。</p> <p>また、教職員以外の『専門スタッフ』と資料にいくつか書いてありましたが、こちらも任用する必要があると思います。嬉しいことに桜川市では教育補助員を毎年増やして人件費を負担しながら事業を行っていることはありがたいことだと思いますが、あらゆる分野で専門スタッフというのは必要です。どんどん導入していただいて、教員が全力で授業に集中できるようにしてもらいたいと思います。</p>

梅井教育長	<p>ただ今、古橋委員がおっしゃっていたように教員の持ち授業数の軽減からつながる質の良い教育、子供の経済の確保ということがあります。その中で、シルバー人材センターにお願いして各学校の外回りの作業をしていただいています。早速羽黒小は活用した結果、校内が綺麗になりました。いわゆる教員の時間の確保のために行いました。こういった、小さいことから少しずつ行っていきたいと思っております。</p>
古橋委員	<p>すみません。蛇足かもしれませんが、資料の29ページで、国では英語教育のために30、31、32年の間で4千人の増員を考えているとありましたよね。その4千人を都道府県で割って、さらに市町村で人数を割って、三年間の間うち桜川市で増える教員の人数は多くて2人ですよ。</p>
梅井教育長	<p>県の人口として茨城県は全国10番目なのですが、財務省が認めたとして最大4千人を、概算ですが50県で割ると80人、教育事務所の数でさらに割ると16人、そうすると桜川市には1,2人が来るか来ないか、になります。</p> <p>なので、自主的に英語の授業の準備を進めていく必要があります。</p> <p>本日、小学校に訪問してきましたが、ALTの先生と非常に良い授業を展開しておりました。毎月、授業の展開について教育委員会で先生方と研修を行っております。</p>
大島委員	<p>働き方改革ということで、同じようなことですが、数年前、部活動の時間の使い方の話がありましたよね。ところが、それが曖昧に終わってしまいました。そういうことがありがちな気がします。そこは先ほど小林教育長職務代理者が言ったように、きちんとルールを守って実施する学校、少しアバウトに実施する学校で、大会に出場したとき子供たちの感じ方が変わってくるのではないかと思うんですね。その辺の基本的なことをしっかり押さえていかないと、学校の温度差はすごく出やすいと思います。</p>
梅井教育長	<p>会議の中で方向が色々変わることがあると思いますのでその都度皆さんに報告させていただいて、ご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>他にご意見はありますか。</p>



<p>佐谷学校教育課 グループ長</p>	<p>これから色々と変わっていくということをご理解いただければと思います。</p> <p>・ICT 技術を活用した英会話交流事業について 学校教育がグループ長の佐谷と申します。どうぞよろしくお願 いいたします。 ( 資料により説明 )</p>
<p>梅井教育長</p>	<p>説明が終わりましたが、ご意見等ございましたらお願いします。 無いようですので、説明ありがとうございました。</p>
<p>梅井教育長</p>	<p>・次回教育委員会の開催日時について ( 日 程 調 整 )</p>
<p>梅井教育長</p>	<p>それでは次回は7月23日、午後1時30分から大和庁舎で開 催いたします。</p> <p>他にその他で何かあればお願いいたします。</p>
<p>古橋委員</p>	<p>はい、よろしいでしょうか。</p> <p>皆様もマスコミ等で承知だと思いますけど、大阪で震度6弱の 地震がおこり、高槻市内の学校のプールの外壁が倒れ、4年生の 児童が亡くなる痛ましい事故がありました。</p> <p>桜川市においては、実情としてはどういった状況なのかと思 いまして質問させていただきます。</p>
<p>佐藤教育部長</p>	<p>はい。</p> <p>茨城県は東日本大震災を経験しております。その時にある程度 危険な場所が判明しましたので、それを踏まえて改善改修を進め ております。</p> <p>しかし、震災から年数も経っております。また大阪の事故では、 構造物が法律にあわないということでした。そういったことにつ いて、今回再度担当が確認しているところでございまして、結果 によって、改善すべきところは積極的に改善していくつもりで ございます。場合によっては予算が必要になってしまう可能性はあ りますが、その時は財政課に相談させていただいて、確実な対応 をとらせていただきたいと思います。</p>

古橋委員	<p>ありがとうございます。よろしくお願いします。</p>
小林教育長職務 代理者	<p>前回の時にもお話をさせていただいたのですが、適正配置について。担当の佐谷学校教育課グループ長が8月にフィリピンの小学校に視察に行ってしまうということですが、適正配置までの予定はどのような感じなのか少し心配なので教えていただけますか。</p>
栗林次長兼学校 教育課長	<p>私の方から説明させていただきます。 基本的に佐谷グループ長が担当で行っておりますが、佐谷だけではなく他の者もおります。またアンケートですが、どのようにとったら最良か、現在検討中です。来月の委員会までには方向性が見えるようにしたいと考えておりますので、もうしばらくお待ちください。</p>
梅井教育長	<p>【 6 . 閉 会 】 以上をもちまして、本日の定例会を閉会いたします。</p> <p>午後 3 時 2 5 分閉会を宣す。</p> <p>この会議の正なることを証します。 平成 3 0 年    月    日</p> <p>教育長</p> <p>議事録署名人 教育委員</p>